

建設現場での安全対策を確認しましょう！

高年齢労働者が働きやすい現場を目指しましょう！



厚生労働省 佐渡労働基準監督署

事故の型で多いのは「墜落・転落」、「転倒」、「飛来・落下」です。
労働災害の防止のため、適正な足場の使用や現場の整理整頓
などに努めましょう！

発生件数が多い「事故の型」3類型

墜落・ 転落	事故の型で最も多いものになります。また、死亡や後遺症を引き起こす重篤な災害になる可能性が高いため、厳格な現場管理が求められます。
ポイント	○適正に安全な足場を組み立てる。 (開口部には手すり・中さんを設ける。) ○墜落制止用器具を適正に着用する。 ○保護帽はあごひもをしっかりと締めて着用する。
転倒	建設業に限らず、全業種で発生件数が多いことが特徴です。特に建設現場においては、物の置き方・場所が日々異なることから、つまずきによる転倒が多い傾向にあります。
ポイント	○作業員が使用する通路や作業床の上には、極力物を置かない。 ○足元が見えにくい状態で作業しない。 ○やむを得ず物を置く場合や滑りやすい箇所について、その旨を掲示し、建設現場の「見える化」を進める。
飛来・ 落下	足場上に置かれた資材や作業員の工具が落下し、足場上や地上にいる作業員に激突するケースです。
ポイント	○適正に安全な足場を組み立てる。 (幅木や保護ネット、各階層に水平ネットを設ける。) ○やむを得ず資材などを置く場合、分散しないよう結束する。 ○保護帽を確実に着用する。

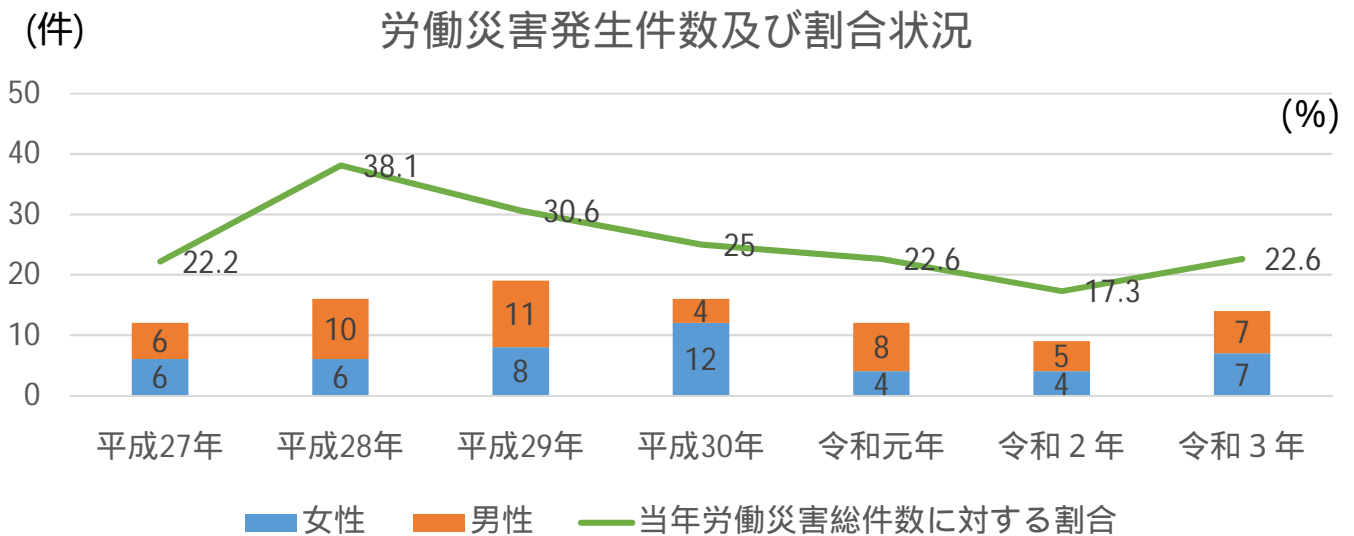
詳しくは、佐渡労働基準監督署（電話0259-23-4500）までお問い合わせ下さい。

高齢労働者の安全対策

～ 建設現場で高齢労働者による労働災害が増えています！～

高齢労働者は、豊富な知識、経験、統率力を備えていることが多い一方、加齢に伴う心身機能の低下が労働災害の発生の要因の一つとなっています。高齢労働者が活力を失わず、その能力を十分に発揮することができる現場・職場づくりが大切です！！

佐渡監督署管内における60才以上の労働災害発生状況
労働災害発生件数及び割合状況



発生状況・傾向

- 身体を使う土木工事業・建築工事業、水産業での労働災害が多い。
- 脚力の衰え、バランス・歩行能力の低下から「転倒」、「墜落・転落」災害が多い。
- 労働災害が発生した場合、休業日数が長期化しやすい。



対策

- 必要な照度を確保する、段差などを解消するといった作業環境を整備する。必要に応じて、見やすい掲示物を設ける。
- 重い物などを持つときには、二人以上で作業を行う。
- 定期健診により健康状態を確認し、日々の体調チェックをこまめに行う。



「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」(エイジフレンドリーガイドライン)も公表されています。
詳しくは佐渡労働基準監督署(電話:0259-23-4500)までお問合せ下さい。